御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2023（令和5年）10月号

不許複製：禁無断転載・引用

Vol.214 仙水グループ広報

仙台水産ホームページ www.sendaisuisan.co.jp

食べて応援！常磐・三陸産水産物

仙台卸売市場で「応援キャンペーン」

仙台市と仙台市中央卸売市場水産物部運営協議会（＊1）主催による常磐・三陸産水産物を応援するキャンペーンが9月29日早朝、仙台卸売市場で開催されました。

会場では、常磐・三陸産水産物の展示と、ホタテとヒラメの刺身、メバチマグロ（ひがしもの）の握り寿司、メヒカリの唐揚げの試食が提供されました。郡仙台市長は報道陣の取材に「風評被害が言われているがそんなことはない。市場に出てくるのは安全なものしか出ていない。ぜひ、おいしい海の幸を皆さんに召し上がっていただきたい」と強調しました。

会場には東北水連会員のいわき魚類、郡山水産、山形丸魚、中央水産花巻、秋田丸魚の各代表らに参加していただきました。素晴らしい常磐・三陸産の水産物を、ぜひ食べて応援しましょう！

＊1：水産物部の卸売業者や仲卸組合、売買参加者等の団体で構成された協議体＝会長：吉田浩之仙都魚類社長

＊2：東北6県の中央、地方市場の水産卸42社で構成＝会長：本田誠仙台水産社長 《4面に組写真》

▶郡市長（右端）らが試食を通じ、常磐・三陸産水産物の安全性をアピールした

セレモニーで仙台市の郡和子市長らのあいさつのあと、協賛の東北水産物卸売市場連合会（略称：東北水連）（＊2）の本田誠会長は「常磐・三陸産の水産物は東北水連各社において大きな取り扱いを誇る重要な商品。処理水放出に伴い風評被害が懸念されるが、科学的根拠に基づいて流通される安全で安心な常磐・三陸の水産物とその生産者を応援することを宣言する」とあいさつしました。

「まぐろの日」前に「三陸塩竈ひがしもの」をＰＲ

塩釜市長がトップセールスで来場、厳選メバチマグロを推奨

１０月１０日の「まぐろの日」を前にした６日早朝、仙台卸売市場で塩釜のブランド生メバチマグロ「三陸塩竈ひがしもの」と、おすすめマグロの消費拡大イベントを行いました。

会場では、塩釜市が誇る「三陸塩竈ひがしもの」（丸）やブロック、刺身お造りなどを展示し、今年おすすめの養殖本マグロを使ったマグロ三種盛り丼や、ねぎとろ丼などのメニュー提案を行いました。試食は、ひがしものを使った握り寿司２００貫が買受人や小売店の方々などに振る舞われ、大変好評を博しました。

当日は、佐藤光樹塩釜市長も精力的にトップセールスを努め「色つや脂のりも良く、甘みもあり大変おいしい。ぜひ食べに来てほしい」と品質の良さをアピールし、自ら買受人や市場関係者、メディア関係者に試食を振る舞いながら呼びかけました。

▲ひがしものブロック（手前）、握り寿司（奥）

塩釜市魚市場買受人協同組合の阿部成寿常務理事は「今年は魚体が例年より一回り大きい分、脂がのっていて大変おいしい」とＰＲしました。ぜひ食卓でご堪能ください。

我が社に笑顔のこの人あり

仙台水産

加工食品部 加工品課

山田 泰雅（たいが） さん

座右の銘は〝風が吹けば桶屋が儲かる〟。事が起き、意外なところにも影響が出ることを表す諺です。広く良い影響を与えられるよう頑張ります。

仙台丸水配送

運輸部

佐藤 友和 さん

福島から仙台にきて当社にお世話になり４年になります。最近は大型にも乗るようになりました。無事故・無違反と、ケガに気をつけて頑張ります。

仙台丸水配送

市場部

伊藤 康平 さん

月日の経つのは早い！今年入社８年目になりました。日々、体調管理に気をつけています。休日はアニメや映画を観たり、バスケをしています。

鈴力水産

管理部

青木 帆花（ほのか） さん

入社して半年、仕事は慣れてきました。まだ覚えることがたくさんあるので、柔軟に仕事に向き合い、少しでも会社に貢献できるよう頑張ります。

ダイスイ

製造部

阿部 裕次郎 さん

入社６ヶ月目。仕事も慣れてきて、明るい会社の人達と毎日楽しく仕事をしています。休みの日は趣味の釣りに没頭しています。水産業は最高!!

桃浦かき生産者合同会社

生産部

遠藤 直弥 さん

４月に入社して半年経ちました。この間、たくさん経験して毎日充実した日々を過ごしています。気を抜かず、残りの半年間も笑顔で頑張ります。

SDGsに貢献！ 旧ユニフォームをリサイクルへ

仙台水産は、今年４月から新制服を導入したのに伴い、役目を終えた旧ユニフォームを廃棄処分することなく資源リサイクルいたしました。

通常、産業廃棄物と事業への協力やＭＳＣ・ＡＳＣ認証、魚食普及含め、ＳＤＧｓに貢献し箱５６０kgを、㈱ＪＥＰＬＡＮ様が運営するＢＲＩＮＧのリサイクルシステムを採用し、新たな服や資源に生まれ変わらせました。

仙台水産はサステナブル（持続可能）な漁業に地球環境の保全が重要との認識の下、植林活動を通した魚食文化の持続など、海、森、里の地球環境保全に取り組んできました。今後とも、今回の資源循環への取り組みを含め、ＳＤＧｓに貢献してまいります。

▲リサイクル証明書

目の健康づくりを心がけよう 健康コラム No.14

10月10日は「目の愛護デー」です。この機会に、目をいたわりましょう。【参照：仙台かわすみ産業医事務所 健康トピックス】

目の奥が痛く、頭痛がする。目が乾く気がする。まぶたがけいれんするなど、あなたが感じる目の疲れは、VDT症候群に陥っている可能性があります。VDT症候群とは、パソコン、タブレット、スマートフォンでの作業（VDT作業）を長時間続けることによって、心身に様々な不調をきたす健康障害のこと。作業効率の大幅な低下をもたらし「涙」の量や質の変化している状態です。

目の疲れを引き起こすのは眼精疲労とドライアイがあります。混合されやすいのですが、実は原因がちがうこの二つ。眼精疲労は目の使い過ぎが原因で、物を見る際ピントを合わせる役割をする筋肉の健康管理に気を休養などの作業環境管理と、湿度とつけましょう。

ムッシュのおさかな道場

１０月１３日（第２金曜）の夕方、ミヤギテレビの人気情報番組「OH! バンデス」の「ムッシュのおさかな道場」。「秋鮭」と言えば宮城の郷土料理「はらこ飯」が有名ですが、今回の新メニューは、秋鮭にエノキの揚げ焼きを乗せた秋らしい一品「鮭とエノキのあきないごまポン丼」。秋らしい鮭とキノコのどんぶりです。魚で元気になりましょう！

▲秋鮭とエノキ、ごまポン酢でさっぱり！

「シラス」を食べよう！

仙台水産営業企画部の御簾納さん担当「魚知（うぉっち）」。１０月号は「しらすを食べよう」。７月から１１月にかけて、仙南地区で漁獲される「北限のしらす」。名取市の閖上港近くですみやかに加工され鮮度は抜群です。宮城のおいしいお魚、栄養も豊富。釜揚げシラスとかぼちゃのパクっとピザです。

▲簡単！食べきりサイズ、ほく旨のしらすピザ

仙台水産ゴルフコンペを開く

仙台水産は１０月１８日、泉パークタウンゴルフ倶楽部（仙台市泉区）で、日頃からお世話になっている荷主様、メーカー様を募って、昨年に続くゴルフコンペを開催しました。当日は天気も快晴、絶好のゴルフ日和でした。

５２人のお客様がOUTとIN１９組の組み合わせでプレーを開始。２ホールのドラコンや全ショートホールのニアピンなどで盛り上がり、競技よりもゴルフを楽しみながら親睦を深めました。前日は前夜祭を催しました。

▲ゴルフ日和、プレー前の集合写真

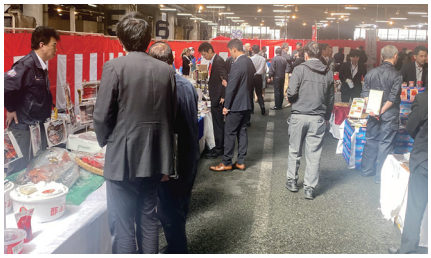
年末まるごと提案！秋田丸魚が年末提案会

秋田丸魚（菅原正隆社長）は１０月１７日、秋田市公設地方卸売市場で「第７回秋田丸魚年末商品提案会」を開き、出展メーカー様５５社とともに多彩な提案を行いました。会場では地場加工品や鮮魚など、秋田県独自商品、各担当差別化商材など、お客様のお役に立つ商材を展示・提案しました。

仙水グループからも仙台鮪販売が出展したほか、仙台水産の鈴木潤一執行役員部長以下役職員１５人が応援に入りました。

菅原 正隆 新社長
１０月１日就任 加藤研吾
前社長は取締役会長に就任

菅原社長は「『さかなで元気』をテーマに、ごちそう・健康・生産者応援など様々な切口で提案を行った。年末商戦につなげるべく納品拡大、取扱いの増加を目指したい」と話しました。会場には量販店や鮮魚小売店、業務筋など大勢の方々が来場し、商談も活発に行われました。



▲来場者にこだわり商材を提案した

今月の旬のお魚 No.55

カキ

▲濃厚な旨みの石巻桃浦産カキ

宮城県産の今シーズン生ガキ出荷は、例年より遅い１１月スタートです。「清浄海域」で養殖された生食用カキは加熱時よりもタウリン、亜鉛、鉄分を沢山摂取できます。ビタミンCと合わせるとより効率よく吸収できるので、レモンと一緒に食べるのがおすすめです。気温が下がって体調を崩しやすい今の時期に沢山食べておきたい食材です。貝なので殻がありますから処理が面倒になることもしばしば。しかし、このカキ殻は、非常に重要な資源になっています。主成分は炭酸カルシウムなので、チョークの原料になったり、畑に撒く有機石灰肥料として使ったり、海にそのまま沈めて微生物のすみかにしたりと、様々な部分で役に立っています。食べるだけにとまらない、宮城県が誇る生ガキの魅力をおすすめしましょう！

11 月度メディア情報《番組出演》11/10 (金) 17:20 ～ミヤギテレビ OH！バンデス「簡単しゃきウマ！カキの南蛮漬け」
《雑誌掲載》10/28 (土) 発行 情報誌りらく 11 月号「ツルっとピリ辛！宮城のカキせりまぜそば」
※詳しくは仙台水産営業企画部まで

園児にサンマのおいしさを！

仙台お魚普及協会（会長：本田誠仙台水産社長）は１０月１３日、向山こども園（太白区）に出向き、園児２７０人にサンマの炭火焼きを振る舞いました。

昨年に続く取り組みで、参加者らは園児らの笑顔から逆に元気をもらいました。普及協会は今後ともお魚に親しんでもらう活動を続けてまいります。

▲柵越しにサンマの炭火焼きを見学する園児ら

石巻復興の森植樹祭に参加

仙水グループは９月２４日、石巻南浜津波復興祈念公園内で住民やボランティア団体など約５５０人が参加する復興植樹祭に、本田社長以下役職員、家族を含めた１４人が参加しました。

同復興祈念公園での参加は令和元年に続く２回目となります。立派な森の再生へ、思いを一つに汗を流しました。

▲植樹前、看板の前で集合写真

閖上さんま祭り 大盛況！

今年３８回目となる閖上の「さんま祭り」が９月２４日早朝、名取市閖上の朝市会場で開かれ、大勢の家族連れで賑わいました。組合の櫻井広行理事長は「仙台水産はじめ関係者の協力で今年も開催できた。子どもたちに焼き立てを楽しんでほしい」と話しました。

▲配付場所には家族連れらの大行列ができた

食べて応援！イベント フォトレポート

東北水連が常磐・三陸の水産物と生産者応援を宣言

キャンペーンは処理水放出後の風評被害払拭と、常磐・三陸産の水産物を国内外にアピールし、被災三県生産者の応援と水産物の消費拡大を図る目的で行われました。当日は東北水連も協賛者として参加し、会員各代表、関係者など約６０人が駆けつけ、イベントを盛り上げていただきました。

▲イベント会場にはヒラメやホタテなど、常磐・三陸産の水産物１６魚種が展示された

▲会の冒頭、あいさつする郡仙台市長（奥）

▲あいさつで「応援宣言」する本田会長

コンプライアンス推進室から　No.41

夜間の交差点事故を無くそう！

日の短くなる１０月以降は夜間の歩行者事故などが多発する傾向にあります。交差点での右左折時に横断歩行者や自転車横断を見落とす危険もあり、注意する必要があります。特に、右折は最も危険な運転行動であることを意識し、横断歩行者などがいないことを十分に確認してから交差点を通過するように習慣づけましょう。

「夕暮れ時の交通事故防止運動」実施中！

【期間】１０月１日㈰から令和６年１月３１日㈬までの間。夕暮れ時の事故原因である①薄暮時間帯で薄暗いのにライトを点灯しない車両がある②夜間は昼間に比べて必要な情報が十分に得られない③夜間は交通量が少なくなることから速度を出し過ぎる、ことなどが考えられます。早め点灯や上向きライト（ハイビーム）の活用、歩行者や無灯火自転車への警戒、速度抑制などに心がけましょう。

▲交差点事故に注意！

※ ハラスメント（セクハラ、パワハラ、マタハラ等）一人で悩んでいませんか？
窓口⇒CSR本部コンプライアンス推進室 **090-3129-8914** に早めの相談を！